

インパクト測定・管理(IMM)の意義と 指標・データの位置付け

2024年8月22日
インパクトコンソーシアム
第1回 データ・指標分科会

SIMI代表理事
今田 克司

一般財団法人
社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

(1) IMMとは (インパクト測定・管理、インパクト測定・マネジメント)

IMM (Impact Measurement and Management、インパクト測定・マネジメント) とは、

第一に自らのビジネス活動が人々や地球に与えるプラスとマイナスの影響を特定し、考慮すること、そして第二に、自らの目標に沿ってマイナスを軽減し、プラスを最大化する方法を考え出すことが含まれる。

IMMの実践には、通常、次の**4つのアクション**が含まれる。

- 1. インパクト目標の設定** (投融資から期待すべき人々や地球への影響をインパクト目標として掲げる)
- 2. インパクト戦略の策定** (インパクト目標達成に至る道のりを、投融資の諸条件を勘案して策定する)
- 3. インパクト指標や目標値 (ターゲット) の設定** (インパクト戦略に沿った投融資の実施ができるように、モニターすべき指標や目標値を定める)
- 4. インパクト・マネジメントの実践** (定めた指標や目標値をモニターしながら投融資を実行する)

指標や目標値を定めるのはここ

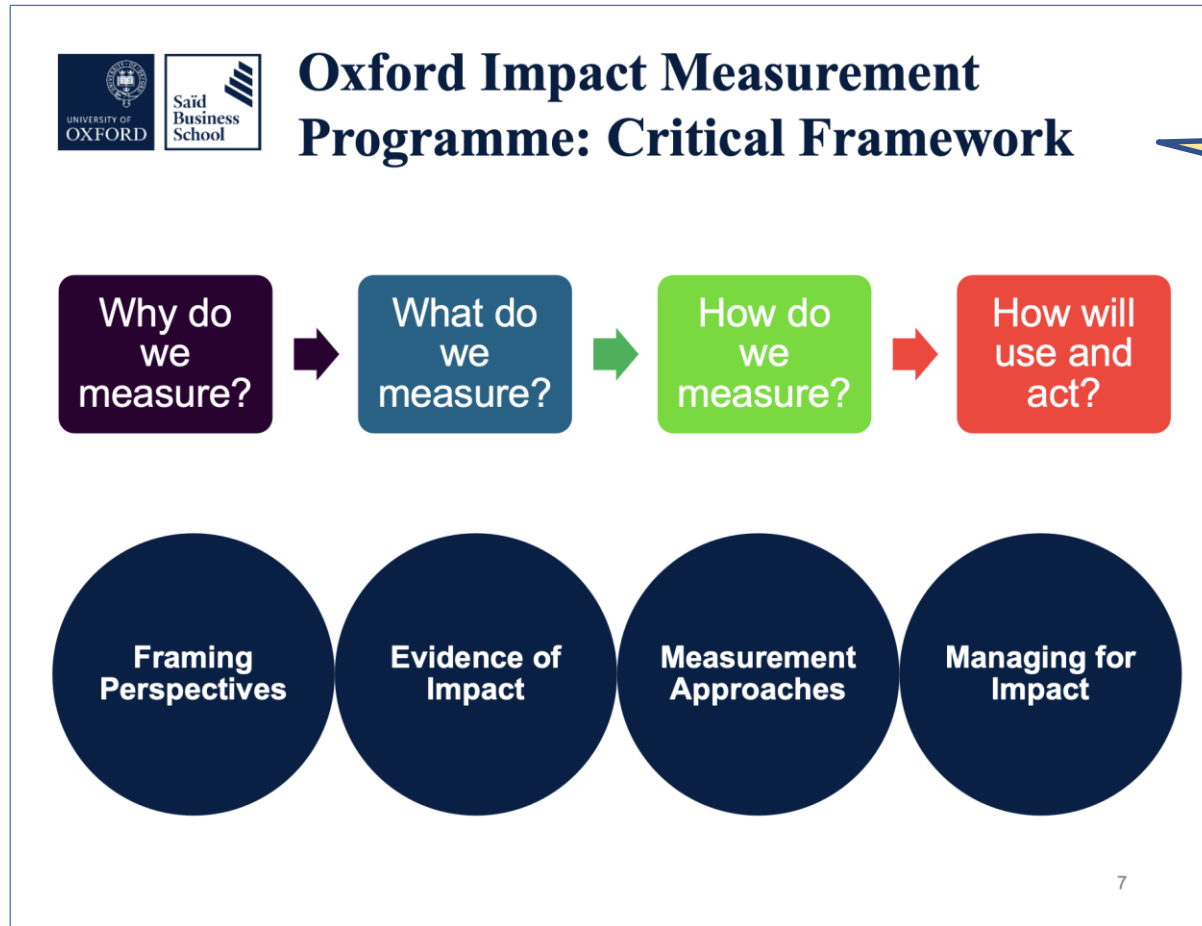
指標をもとにしたデータ収集が行われるのはここ



GIIN (グローバル・インパクト投資ネットワーク) より <https://thegiin.org/imm/>

(2) IMMの進展～Howの前にWhy&Whatを問え。そしてふたたびHowへ

11/20/2020金融庁・GSG国内諮問委員会共催「インパクト投資に関する勉強会」
 Karim Harji 氏 (Programme Director, Oxford Impact Measurement Programme)
 IMM: Trends, Approaches and Prospects 発表



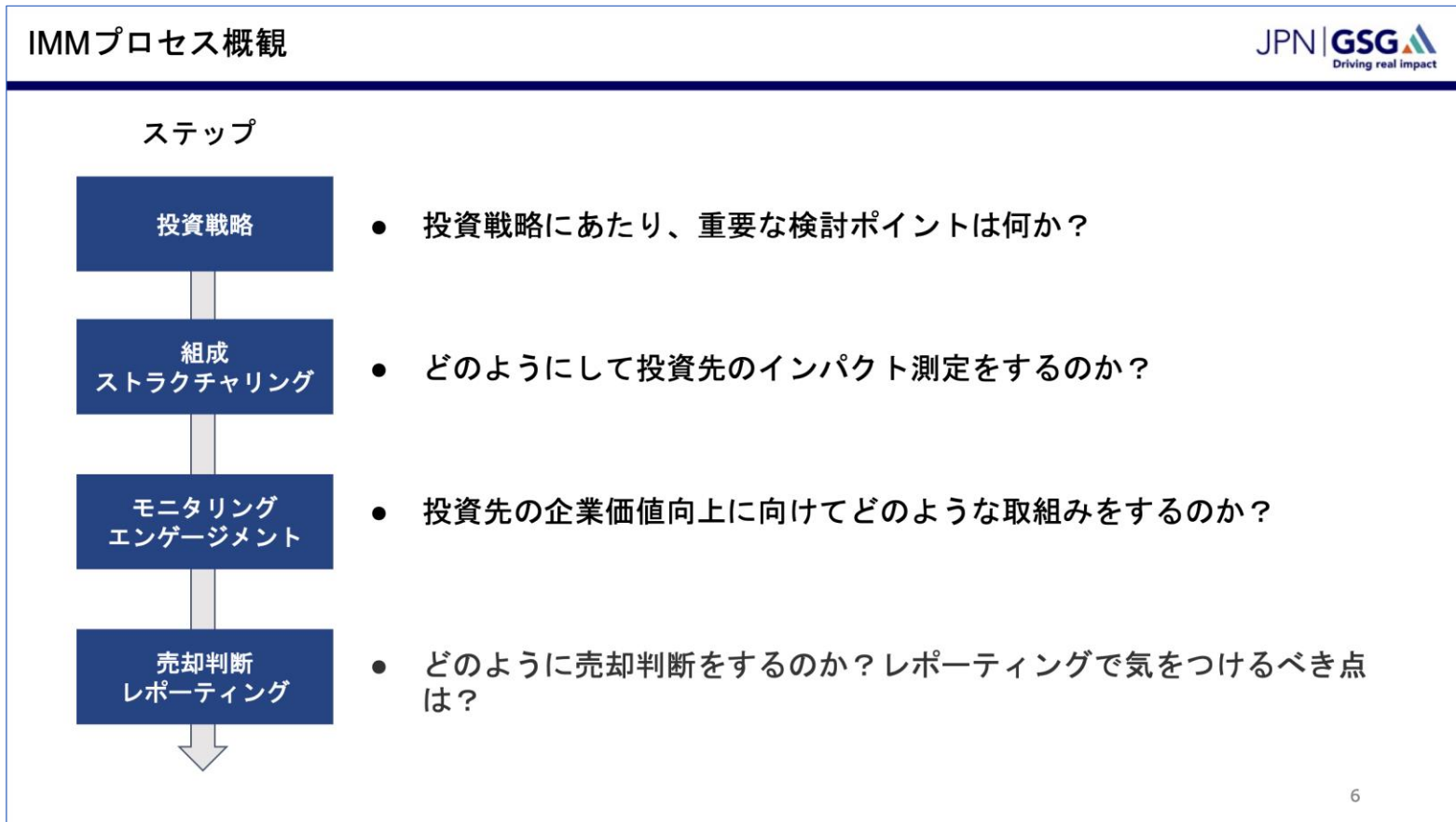
(当日のメッセージ)
 Howの前に
 Why & What を問え

IMMの普及
 と定着

(その後の展開)
 Why & What から
 ふたたび **How** へ

(3) 日本での基準づくりの動き

- 2020年度GSG国内諮問委員会IMMワーキンググループ（エクイティ）
- 2021-22年度金融庁・GSG国内諮問委員会共催「インパクト投資に関する勉強会」IMM分科会（デット）



https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/Guidebook_for_Impact_Measurement_and_Management.pdf

インパクト投資におけるインパクト測定・マネジメント実践ガイドブック
要約スライド資料より

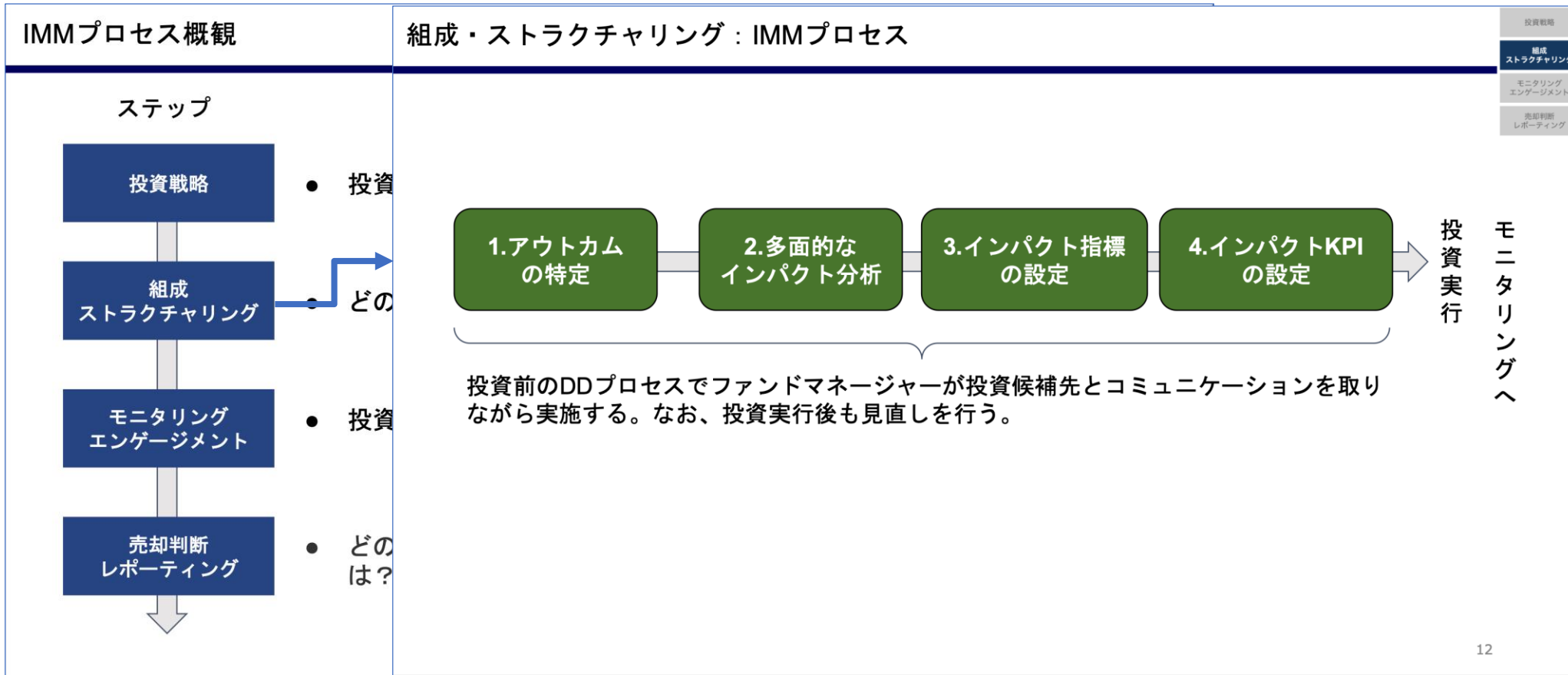
https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/B-3_sudo_IMM_Guidebook.pdf



https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/GSG_Guidebook_IMM.pdf

(4) 指標・データの位置付け

- 2020年度GSG国内諮問委員会IMMワーキンググループ（エクイティ）
- 2021-22年度金融庁・GSG国内諮問委員会共催「インパクト投資に関する勉強会」IMM分科会（デット）



インパクト投資におけるインパクト測定・マネジメント実践ガイドブック
 要約スライド資料より
https://impactinvestment.jp/user/media/resources-pdf/B-3_sudo_IMM_Guidebook.pdf

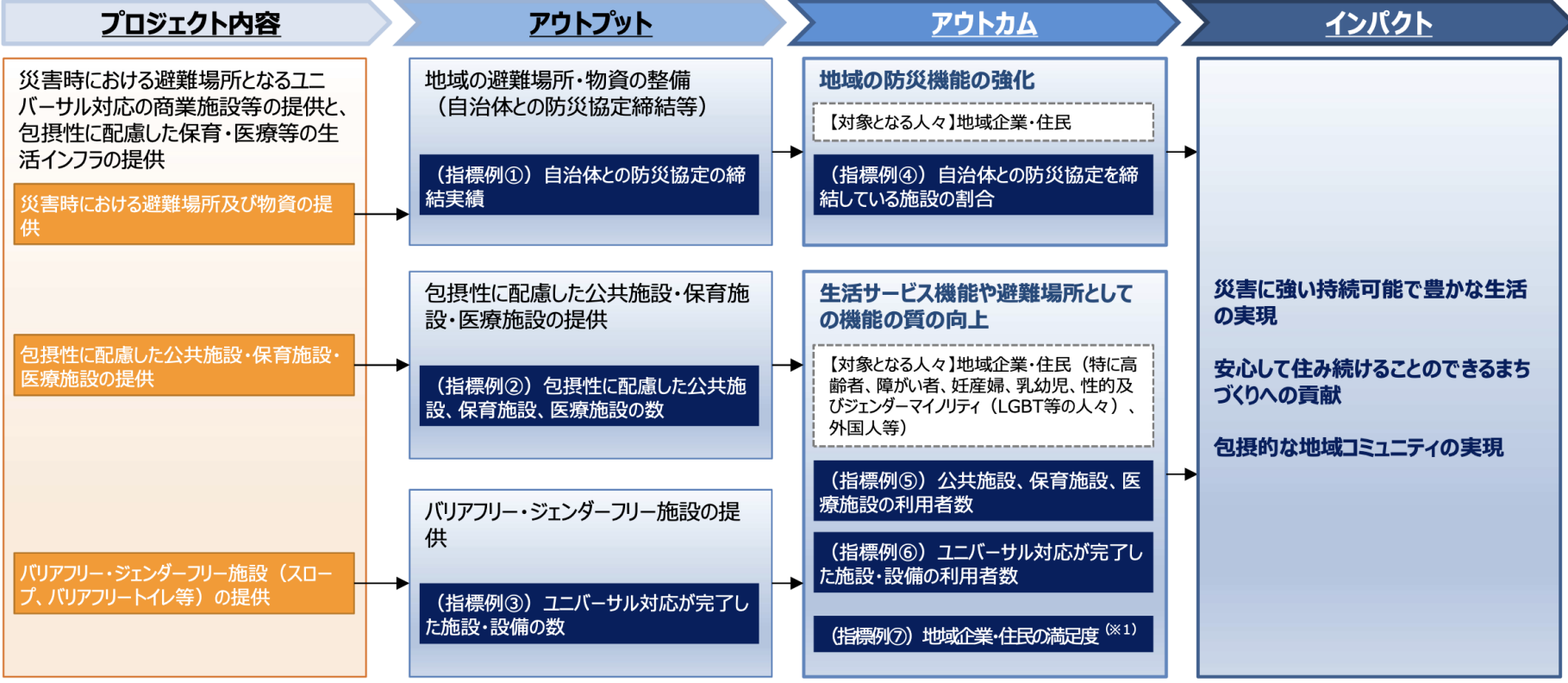
例⑭

持続可能で強靱な国土(防災・減災対策、インフラ老朽化対策)

インパクトに至る過程及び指標等の例

防災・減災対策を施した施設の建築、災害時における避難場所・物資の提供、持続可能なまちづくりの推進事業

社会的課題	持続可能で強靱な国土(防災・減災対策、インフラ老朽化対策)
社会的な目標	保育・医療施設、商業施設等の地域社会の生活インフラ資産をバリアフリー・ジェンダーフリー等の包摂性に配慮しつつ提供する中で、あらかじめ要配慮者支援が可能な災害時避難場所となるように施設づくりを行うプロジェクトにより、災害に強い持続可能で豊かな生活や安心して住み続けることのできるまちづくりと包摂的な地域コミュニティの実現に貢献する。



金融庁（2022）「ソーシャルプロジェクトの社会的な効果に係る指標等の例」
<https://www.fsa.go.jp/news/r4/singi/20220715.html>

【環境・社会に対して付随的にネガティブな効果をもたらすおそれのある環境・社会的リスク例】

- ・ 設備等改修工事による騒音等の可能性
- ・ 物件取得プロセスにおける不本意な立ち退き・移住等の可能性

アウトプット・アウトカム・インパクトの算定方法（例）

※1 公共施設・保育施設・医療施設等の生活インフラ・サービスの機能や避難場所としての機能に対する評価・満足度の把握を目的とした地域企業・住民（施設・設備等の利用者）へのアンケート

社会的な目標

保育・医療施設、商業施設等の地域社会の生活インフラ資産をバリアフリー・ジェンダーフリー等の包摂性に配慮しつつ提供する中で、あらかじめ要配慮者支援が可能な災害時避難場所となるように施設づくりを行うプロジェクトにより、災害に強い持続可能で豊かな生活や安心して住み続けることのできるまちづくりと包摂的な地域コミュニティの実現に貢献する。

アウトカム

地域の防災機能の強化

【対象となる人々】地域企業・住民

(指標例④) 自治体との防災協定を締結している施設の割合

地域の防災機能が強化される

より絞り込んだ**インパクト目標** (一例)
災害に強い持続可能で豊かな生活の実現

他に考える**指標** (一例)

- ・地域住民 (特に高齢者、障がい者) の災害対応に対する安心感
- ・地域内で災害時に自施設やサービスを住民に提供する用意のある企業の割合

それぞれの指標に対する**データの存在**

- ・すでに収集済み、定期的に収集しているデータ
- ・新たに収集すべき一次データ
- ・活用できる二次データ

金融庁 (2022) 「ソーシャルプロジェクトの社会的な効果に係る指標等の例」
<https://www.fsa.go.jp/news/r4/singi/20220715.html>

IMMを効果的に進めることを支援する指標・データのあり方を一緒に考えていきましょう